



宇城市政第51号
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 様

宇城市長 阿曾田



中期的な計画の作成にあたっての意見に
ついて (提 出)

平成19年4月2日付国道企第114号でご依頼のありましたこのこと
について、別紙のとおり提出いたします。

(連絡先)

熊本県宇城市松橋町大野85
宇城市役所 総務部
総合政策課 秘書係 嘉古田
0964-32-1111 FAX0964-32-110
(内線)1215

① 重要化を進める上で特に優先度の高い政策

平成の合併が進み、新たな市や町が誕生しました。われわれの市も 5 町の町が合併して 6 万 4000 名の市となりました。

この 5 つの町はそれぞれ 1 万前後の町で、昭和の合併以来、それぞれ独自の町づくりが行われてきました。

合併して、中心になる町が新市の中心となり、庁舎は真ん中に位置する町が決まった。そして新市のまちづくりが始まった。旧町時代とは違い約 5 倍の規模になったまちづくりをしなければならなくなった。

新たなまちづくりには新たな土地利用や社会資本の整備が求められる。いよいよ合併の効果が問われだした。地方分権化や三位一体改革は、地方財政を圧迫しており、市民の合併への期待を裏切ることにさえなる国の政策である。

新たなまちづくりに社会資本の整備は必要不可欠で、国の支援なくして、地方のまちづくりは出来ないといえる。

② 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

勿体ないなあと思うことがある。

○ 同じ道路の場所に掘り起こして、下水道工事があつたり又上水道工事がなされている。上・下水道を一度にすればいいのにとと思う。更に電話線や電線等共同溝として工事すればいいのにとと思うこと度々がある。

発注元がそれぞれであるからで、誠に勿体ない。

○ 平成 11 年台風により 12 名の死者が出た。早速堤防のかさ上げがされた。高潮の対策はとれたが、海岸線を走っていた道路が数 km 渡って、堤防の下になり海が見えなくなり、評判が悪くなった。堤防を上げるより、道路を上げればよかったのに。

○ ヨーロッパに行けば、昔ながらの建物、道路、橋など古いものを大切にしている。日本も見習う必要がある。

古いものでも、生かす方法をもっと考えるべきである。

○ 島国、日本は海岸線が長い。その海岸が農林、建設、港湾、漁港、海岸と管理が分かれている。管理は行政の都合、縄張りにすぎない。一体的に管理、施行していきたい。

極めて、非効率だと思う。地元民は迷惑している。

○ 国の直轄で無駄は結構あるのでは？ 地方自治体には費用対効果、採算性を強く言われるが、勿体ない視点で、改めて国も地方公共団体も持つ必要があるのでは！

③ その他、道路政策や道路の整備管理全般に関する意見

日本は高度成長と平行して、社会資本の整備が進められてきたが、道路、河川、橋、鉄道、空港、港等日本列島建設が進められた。

地方においてもしかり、整備は急速に進んだのは事実である。

私も、30年前から政治（県議）にたずさわり、地方の港湾やダム、河川、道路の整備に熱心に取り組んできた。

しかも1年でも早く完成させることを。しかし今反省することは、果たしてダムは必要だったのか？規模的にみて！河川の整備は中途半端ではなかったか？

橋はもっと丈夫な橋を作っておくべきではなかったか。と反省する昨今です。

特に道路については、改良と舗装を1年でも1日でも早く完成させたいとの思いから、安全性や快適性、景観まで考えての整備ではなかった。

今はなぜ、幅員を充分取り、歩道や街路樹も設けた道路づくりをしなかったのか、市長になって反省しています。こんな道路は交通事故も多い、欠陥道路といわざるを得ません。今からでも将来を見据えた道路を今つくる事こそ、地方の発展があると考えます。